

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言日 令和 4年 11月 8日

事業者名 学校法人 九州国際大学



私たちは、SDGsの内容を理解し、SDGsの達成に向けた取組方針及び重点的な取組を以下のとおり宣言します。

◆ SDGs 達成に向けた取組方針

本法人は、地域密着型の総合学園として、その特色を活かし、地域をフィールドとした調査・研究・学修等の諸活動を通じて、地域との連携を深め、地域に必要とされる学園となるために、役員・教職員・学生・生徒が一丸となってSDGsの取組を推進していきます。

◆ SDGs 達成に向けた重点的な取組

分類	SDGs 達成に向けた重点的な取組
公正・ パートナーシップ・ 地域社会への貢献	本学学生の地元企業(福岡県・北九州市)への就職数の増加を目指し、地元企業で活躍する人材育成・地元の人口滞留・地域の活性化に取り組みます。
人権・平等・労働	女性活躍推進法に基づく事業主行動計画を策定・実施し、事務職員の女性管理職比率の向上を目指します。
産業・技術	DXの推進・教職員のICTスキル向上を目的とした講習等を実施し、デジタル化による生産性の向上に取り組みます。
環境・ワンヘルス	第3期中期経営計画(2019～2023年)に基づくファシリティマネジメントを行い、学内施設の長寿命化(使用年数の長期化)を目指します。

◆ SDGs 達成に向けたパートナーシップ

学生の教育・人材育成と、活力ある個性豊かな地域社会の形成および発展に寄与するため、地元企業や団体等と連携協定を締結し、地域の課題解決や風土・文化・産業の価値を高める取組を行います。

SDGs達成に向けた取組シート

・「必須」はすべて、「選択」は5項目以上選んで、「具体的な取組」を記載してください。
※「具体的な取組」は、「実施中のもの」または「今後1年以内に取組む予定のもの」を記載してください。

申請年月

2022年11月

















































事業者名

学校法人 九州国際大学



Table with columns: No, 分類, 項目タイトル, 項目, 必須・選択, 該当項目, 関連する福岡県の宣言・登録制度等への登録状況, 政令市のSDGs登録制度への登録状況, 具体的な取組, 実施状況, 実施経過(1年後), 対応する主なSDGs, 関連する総合計画30の取組事項. Includes rows for 経営理念の共有, 法令の遵守, 事業継続計画(BCP), 個人情報の保護, 飲酒運転の撲滅, 事業の承継, UIJターンの推進と若者の県内への定着, 地域防災への貢献, 共助社会づくり, 世界遺産等の保護・保全, 国際協力・貢献, SDGsの普及啓発.

No	分類	項目タイトル	項目	必須・選択	該当項目	関連する福岡県の 宣言・登録制度等への登録状況		政令市のSDGs 登録制度 への登録状況		具体的な取組	実施状況		実施経過(1年後)		対応する 主なSDGs	関連する 総合計画 30の取組事項			
						登録済の 宣言・登録制度等 の名称	登録済	未登録	実施予定項目の 予定開始年月		開始年月								
												北九州市	福岡市						
13	人権・平等・労働	ダイバーシティ経営とジェンダー平等	女性、外国人、高齢者、障がいのある人、性的少数者など、多様な人材が能力を発揮できる職場環境を整えている。	必須				○		「育児休業、育児時短勤務、所定外勤務の免除等に関する規定」「介護休業、介護時短勤務、所定外勤務の免除等に関する規定」を整備し、性別を問わず、働きやすい職場環境を提供 関連する既存制度に登録済	実施中						5 5.1, 5.b 8 8.5 10 10.2, 10.3	11 雇用対策の充実、魅力ある職場づくり 15 ジェンダー平等の社会づくり 18 人権が尊重される心豊かな社会づくり	
14		差別やハラスメントの禁止	採用や人事評価、職場において性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別をしていない。また、あらゆるハラスメント行為の防止に取り組んでいる。	必須				○		・「ハラスメントの防止のためのガイドライン」「ハラスメントの防止及び対策についての指針」「ハラスメントの防止に関する規程」などを整備 ・セクシャル・ハラスメント、アカデミック・ハラスメント等をはじめとする、各種ハラスメント防止の啓蒙を継続 関連する既存制度に登録済	実施中						5 5.1 8 8.5 10 10.2, 10.3	11 雇用対策の充実、魅力ある職場づくり 15 ジェンダー平等の社会づくり 18 人権が尊重される心豊かな社会づくり	
15		人権教育の推進	人権問題に関する学習機会を提供するなど、人権尊重の精神の育成に取り組んでいる。	必須				○		・職員の人権啓発セミナーへの参加 ・法令や指針を再認識の上、コンプライアンス遵守に努めるとともに、関係者や学生・生徒への指導教育を実施 関連する既存制度に登録済	実施中						4 4.7 5 5.1 10 10.2, 10.3	11 雇用対策の充実、魅力ある職場づくり 15 ジェンダー平等の社会づくり 18 人権が尊重される心豊かな社会づくり	
16		労働安全衛生	業務中の事故などを防ぐため、労働安全衛生に関する講習を実施するなど、安全で衛生的な労働環境づくりに取り組んでいる。	必須				○		労働安全衛生法に基づき「安全衛生委員会」を設置 ⇒平野・枝光の各キャンパスに設置、職場環境整備に努めている 関連する既存制度に登録済	実施中						8 8.8 9 9.1	11 雇用対策の充実、魅力ある職場づくり 20 安全で安心して暮らせる地域づくり	
17		長時間労働の抑制	36協定で締結した限度時間を遵守するなど、適切な労働時間管理を行うとともに、ノー残業デーの実施や年次有給休暇取得促進など働き方の見直しに取り組んでいる。	必須				○		・労働基準法に則り、5日間の有給休暇取得を義務付けている(就業規則25条4項) ・適法な36協定を締結、所轄労働基準監督署に届出済 ・完全週休2日制導入(2022年4月) ・労働時間管理の徹底・厳正化を目的として「勤怠管理システム」を導入 関連する既存制度に登録済	実施中						3 3.4 8 8.5, 8.8 10 10.3	11 雇用対策の充実、魅力ある職場づくり 15 ジェンダー平等の社会づくり	
18		健康づくり	従業員の心身の健康の保持・増進に取り組んでいる。または、「ふくおか健康づくり団体・事業所宣言」に登録している。	必須	○			○		・年1回の健康診断・ストレスチェックを規定(就業規則36条1項・2項) ・健康診断・ストレスチェックの結果に問題があれば産業医による面談を実施(3項) 関連する既存制度に登録済	実施中						3 3.4 8 8.5, 8.8	12 健康づくり、安心して質の高い医療の提供	
19		人材の育成	全ての従業員などにスキルアップのための研修や教育の機会を提供している。	必須				○		「職員研修規程」「SD委員会運営に関する内規」を定め、適切に運用 ⇒年度計画に則り、職員的能力開発・資質向上に寄与する機会を提供 関連する既存制度に登録済	実施中						4 4.4, 4.5 8 8.5, 8.6, 8.8	1 次代を担う「人財」の育成 15 ジェンダー平等の社会づくり	
20		多様な働き方の推進	テレワークの実施やサテライトオフィスを設置するなど、多様な働き方を導入している。	選択						・「テレワークによる在宅勤務に関する規程」を整備 ・「テレワークによる在宅勤務に関する規程」9月機関決定、10月施行開始 ⇒コロナ感染症拡大防止及び働き方改革の一環	実施中						5 5.4, 5.5 8 8.5, 8.8 10 10.1, 10.2	11 雇用対策の充実、魅力ある職場づくり 15 ジェンダー平等の社会づくり	
21		仕事と子育ての両立	結婚・出産後も働きやすい職場環境づくりや、従業員が仕事と子育てを両立できるような取組を行っている。または、「子育て応援宣言企業」に登録している。	選択	○					「育児休業、育児時短勤務、所定外勤務の免除等に関する規定」を整備し、性別を問わず、働きやすい職場環境を提供	実施中						5 5.1, 5.4, 5.5 8 8.5, 8.8 10 10.2	11 雇用対策の充実、魅力ある職場づくり 15 ジェンダー平等の社会づくり 25 出会い・結婚・出産・子育て支援	
22		仕事と介護の両立	従業員が仕事と介護を両立できるような取組を行っている。または、「介護応援宣言企業」に登録している。	選択	○					「介護休業、介護時短勤務、所定外勤務の免除等に関する規程」を整備し、働きやすい職場環境を提供	実施中						5 5.4, 5.5 8 8.5, 8.8 10 10.2	11 雇用対策の充実、魅力ある職場づくり 15 ジェンダー平等の社会づくり	
23	障がいの特性に応じた就労の推進	障がいのある人が個性や能力を発揮して働ける環境を整え、積極的に雇用している。	選択						・障がいのある学生の就学支援 ⇒各施設へスロープを利用し入館可能、各施設入口に自動ドアの設置 ⇒各棟にエレベーター及び障がい者用トイレの設置 ⇒各教室に車いすスペース確保、専用駐車場の設置 ・「九州国際大学における障害のある学生への修学支援等に関する規程」策定	実施中						1 1.3 8 8.5, 8.8 10 10.2	11 雇用対策の充実、魅力ある職場づくり 16 高齢者、障がいのある人への支援		
24	女性の活躍の推進	女性の管理職登用や、積極的な採用を行っている。	選択						・女性活躍推進法に基づく事業主行動計画の実施(2018年～2022年) ・前行動計画の実施結果を反映させた次期事業主行動計画を策定 【次期目標】女性管理職比率の向上(事務職員) 2022年11月現在 / 15.4% → 2026年3月 / 20.0% 2024年2月現在 / 20.0% → 2028年1月 / 30.0%	実施予定	2023年	2月	実施中	2023年	2月			5 5.1, 5.5 8 8.5, 8.8 10 10.2	15 ジェンダー平等の社会づくり
25	キャリア教育の推進	職場体験への協力など、地域の子どもや学生などのキャリア教育に協力している。	選択						・オープンキャンパスの開催 ⇒模擬授業、進学相談、キャンパスツアー、資格取得相談、就職相談など ・出張講義を実施 ⇒大学の教員が高等学校へ出向き、関心の高いテーマを取り上げ講義を行う ・本学法学部「地域安全マップ活動(姜ゼミ)」 ⇒北九州市・警察・小学校と連携して「子供たちを犯罪から守る」活動を毎年実施	実施中							1 1.2 4 4.4 11 11.3	1 次代を担う「人財」の育成 24 教育の充実	

No	分類	項目タイトル	項目	必須・選択	関連する福岡県の 宣言・登録制度等への登録状況		政令市のSDGs 登録制度 への登録状況		具体的な取組	実施状況		実施経過(1年後)		対応する 主なSDGs	関連する 総合計画 30の取組事項	
					該当 項目	登録済の 宣言・登録制度等 の名称	北九州市	福岡市		実施予定項目の 予定開始年月	開始年月	9	11			12
26	産業・ 技術	商品・サービスの安全性の確保	商品・サービス使用時に想定されるリスクと対策の整理や、商品を安全に使用するための取扱説明書の作成など、商品・サービスの安全性を担保する体制を整備している。	必須					・福岡ひびき信用金庫との「包括的地域連携協定」締結(2020年1月) ⇒第1弾「新たなサービスに関する共同研究」(2021年3月に研究結果発表済) ・八幡法人会・八幡ロータリークラブ等の地域団体に加盟・人員を派遣 ⇒地域との密な連携による共存・共栄を目指す 関連する既存制度に登録済	実施中			  	20 安全で安心して暮らせる地域づくり		
27		ユニバーサルデザインの導入と社会課題の解決	ユニバーサルデザインの考え方に基づく商品・サービスや、社会課題の解決につながる商品・サービスの提供に取り組んでいる。	必須					・WEB給与明細導入(2022年3月) ⇒紙使用量削減 ・本学サッカー部が、毎月8・18・28日に大学周辺の清掃活動を実施・継続 ⇒八幡の「8」のつく日に毎月実施 関連する既存制度に登録済	実施中			  	7 成長産業の創出 16 高齢者、障がいのある人への支援 22 共助社会づくり、生涯学習の推進		
28		新たな技術・商品の開発	品質向上や新たな技術・商品・サービスの開発に取り組んでいる。	選択					「一般社団法人学生キャリアサプリア研究会」(2017年5月設立) ⇒本学法学部生の就業能力の向上に寄与する研究と支援	実施中			  	8 中小企業の振興		
29		地域資源・特性の活用	地域(県産)の原材料や資源の積極的な活用や、地域の特性を生かした商品・サービスの開発に取り組んでいる。	選択					・本学法学部「若松とまとカレープロジェクト(櫻井ゼミ)」(2021年6月設立) ⇒北九州の農産物(地産地消)による地元ブランドの製品化を目指す ⇒2022年4月より九州国際大学オリジナル商品「とまとカレー」を一般販売	実施中			  	2 世界から選ばれる福岡県の実現 9 農林水産業の振興 10 地域と調和した観光産業の振興 21 地域の活力向上		
30		DXの推進	デジタル化による生産性の向上などに取り組んでいる。	選択					教職員のICTスキル向上を目的とし「ICTスキル確認テスト」「ICT講習会」を実施 ⇒普段の業務で使用するソフトウェアの効果的活用やRPAの活用による業務の自動化	実施中			  	5 デジタル社会の実現		
31	多言語対応	ホームページや店舗などで多言語表記(英語表記のみ含む)に対応している。	選択					・ホームページでの多言語表記(英語・中国語・韓国語)に対応 ・学内の注意表記を英語とマークで表記	実施中			  	11 雇用対策の充実、魅力ある職場づくり 19 外国人材に選ばれる地域づくり			
32	環境・ ワンヘル ス	廃棄物の削減・リサイクルの推進、廃棄物の適正処理	事業活動から生じる廃棄物の削減やリサイクルの推進、または「県産リサイクルの推進、廃棄物の適正処理」の登録を行っている。かつ、廃棄物の適正処理を徹底している。	必須	○			・紙・段ボール・空き缶・ペットボトル等、リサイクル資源の分別を徹底 ・「KAMIKURUプロジェクト」への参画(2022年10月) ⇒使用済み古紙を再生紙として再活用 関連する既存制度に登録済	実施中			  	23 快適な環境の維持、保全			
33		脱炭素化の推進	節電や省エネ効果の高い機器の利用などの省エネ活動や、公共交通の積極的な利用、社用車への電動車の導入など、脱炭素化に取り組んでいる。 または、「エコ事業所」、「ワンヘルス宣言事業者登録制度」に登録している。	必須	○			・エネルギー効率向上のため、キャンパスの全照明設備をLEDに更新済(2017年~2018年) ⇒ 電力使用量減少に寄与 ・毎年クールビズを推進(5月~10月) ・本学法学部「未来を脅かす環境破壊、なんとかならないの?(山中ゼミ)」にて研究発表 ⇒環境諸問題について、法律・条約を学び、国際貢献に寄与する研究 関連する既存制度に登録済	実施中			  	3 ワンヘルスの推進 6 グリーン社会の実現			
34		感染症対策の推進	新型コロナウイルスをはじめとした感染症対策など、衛生対策を徹底している。 または、「ワンヘルス宣言事業者登録制度」に登録している。	必須	○			・「九州国際大学における新型コロナウイルス感染症拡大防止のための行動指針」の策定 ・「九州国際大学における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」の策定 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う本学の対応等をホームページで公表 関連する既存制度に登録済	実施中			  	3 ワンヘルスの推進 27 感染症対策の推進			
35		プラスチックごみの削減	プラスチックごみの削減に取り組んでいる。 または、「ふくおかプラごみ削減協力店」、「ワンヘルス宣言事業者登録制度」に登録している。	選択	○			・「地域クリーンアップ活動(木下ゼミ)」(2020年12月) ・「響灘に流れ着いたプラスチックごみの回収奉仕活動(八幡ロータリークラブ)」(2022年10月) ・「まつり起業祭八幡2022クリーンアップ活動」(2022年11月)	実施中			  	3 ワンヘルスの推進 23 快適な環境の維持、保全			
36		食品ロスの削減	製造・流通、外食・販売過程において発生する食品ロスの削減に取り組んでいる。 または、「食べもの余らせん隊」、「ワンヘルス宣言事業者登録制度」に登録している。	選択	○			本学現代ビジネス学部「留学生が行くSDGs旅行(福島ゼミ)」 ⇒コロナで滞航中止となり、北九州市内で「ベントウ・ジャーニー」を実施 ⇒地元の食材を用いて旅行者自身が弁当を作ることで食品ロスをなくし、火を使わない方法で環境負荷軽減を体感	実施中			  	3 ワンヘルスの推進 23 快適な環境の維持、保全			
37	農林水産物の地産地消の推進	県産の農林水産物を使用し、地産地消に取り組んでいる。 または、「ふくおか地産地消応援の店」、「ふくおかの地魚応援の店」、「ふくおかジビエの店」、「ワンヘルス宣言事業者登録制度」に登録している。	選択	○			本学現代ビジネス学部「子ども食堂チーム(村上ゼミ)」 ⇒農林水産省「第5回食育活動表彰」を受賞(2021年4月) ⇒北九州市産業経済局設置の「北九州市農林水産業振興計画」の外部有識者検討会メンバーに選出(2021年7月) ⇒農林水産省「食育白書」に掲載(2022年6月)	実施中			  	3 ワンヘルスの推進 9 農林水産業の振興 21 地域の活力向上				
38	生物多様性	健全な森林環境や河川環境を維持するための活動など、生物多様性の保全に取り組んだり、地域が実施する環境保全活動への協力・支援を行っている。 または、「ワンヘルス宣言事業者登録制度」に登録している。	選択	○			・本学現代ビジネス学部「やはたアートフォレスト(三輪ゼミ)」(2022年9月) ⇒国際通りにてマルシェを開催することで地域の魅力を発信 ・本学現代ビジネス学部「竹苺体験(奥畑ゼミ)」(2022年5月) ⇒竹林整備で回収した竹資源を地域交流に再利用	実施中			  	3 ワンヘルスの推進 23 快適な環境の維持、保全				
39	環境に配慮した調達・商品・サービス開発	環境負荷に配慮した原材料の調達や、環境に配慮した商品・サービスの開発に取り組んでいる。	選択				・学校設備の耐用年数長期化(年度設備投資計画による) ⇒第3期中期経営計画(2019~2023年)ファンリティマネジメント 【2030年目標】学内施設の長寿命化(使用年数の長期化) 法定耐用年数47年(RC構造) ⇒ 目標使用年数60年 ・「KAMIKURUプロジェクト」により古紙を再資源化しアップサイクル品として活用 ⇒アップサイクル品として、再生紙を使用した名刺の作成を目指す	実施中			  	6 グリーン社会の実現				
40	緑化の推進	壁面緑化や植栽など、社屋や地域の緑化に取り組んでいる。 または、「ワンヘルス宣言事業者登録制度」に登録している。	選択	○			本学学生の理想的なキャンパスライフに定めるため環境を整備 ⇒門や塀がなく、周辺の環境とも調和のとれたキャンパス ⇒「第2回(平成13年度)北九州市都市景観賞」を受賞	実施中			  	3 ワンヘルスの推進 6 グリーン社会の実現				
41	再生可能エネルギーの利用	太陽光パネルの設置や再生可能エネルギー由来の電力の調達など、再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。 または、「ワンヘルス宣言事業者登録制度」に登録している。	選択	○			「近未来都市東田地域回遊モビリティ実証事業」参加(2022年10月) ⇒東田地区への来訪者の利便性向上と街区まるごと低炭素化を目指すEVスローモビリティの実証実験 ⇒ソーラーパネルの車両搭載により補助電源としての活用やゼロエネルギーシステムに貢献	実施中			  	3 ワンヘルスの推進 6 グリーン社会の実現				

※「ワンヘルス宣言事業者登録制度」は、各項目に関する取組を実施している場合のみ、選択してください。